

‘ひのみどり識別キット’を用いた「夕凧」・「ひのはるか」の識別

市販されている遺伝子による‘ひのみどり識別キット’を用いることにより、本県が新たに育成したイグサ品種「夕凧」及び「ひのはるか」の識別が可能である。

農業研究センター農産園芸研究所バイオ育種研究室（担当者：飯牟禮和彦）

研究のねらい

イグサ品種「ひのみどり」を遺伝子レベルで識別するキットが現在市販されている。このキットを用いて県で新たに育成された品種「夕凧」と「ひのはるか」が識別できるか検討する。

研究の成果

- 1．PCRに用いる5つのプライマーペアのうち、29L/29R、FL/FR、GL/GRの3つのプライマーペアのいずれかを使用することによって、「夕凧」と「ひのはるか」および他の品種との識別が可能である(図1、表1)。
- 2．このうち、29L/29RとGL/GRを使用した場合、県で育成した「ひのみどり」、「夕凧」および「ひのはるか」は、1本のバンドのみが現れるのに対し、他の品種は複数のバンドが現れる。これら県育成品種のうち「夕凧」だけがバンドの位置が異なるので比較的容易に識別が可能である(図1、表1)。
- 3．5つのプライマーペアのうち、FL/FRを使用することによって、「ひのみどり」独自のバンドパターンを示し他の品種との識別が可能である(図1、表1)。

普及上の留意点

- 1．本キットは、(株)ジーンネット (<http://www.genenet.co.jp>) から市販されている。
- 2．乾燥茎の場合は、キットのプロトコルに準ずる。
- 3．生茎の場合は、一般的なDNA抽出法で抽出し、その後はキットのプロトコルに準ずる。

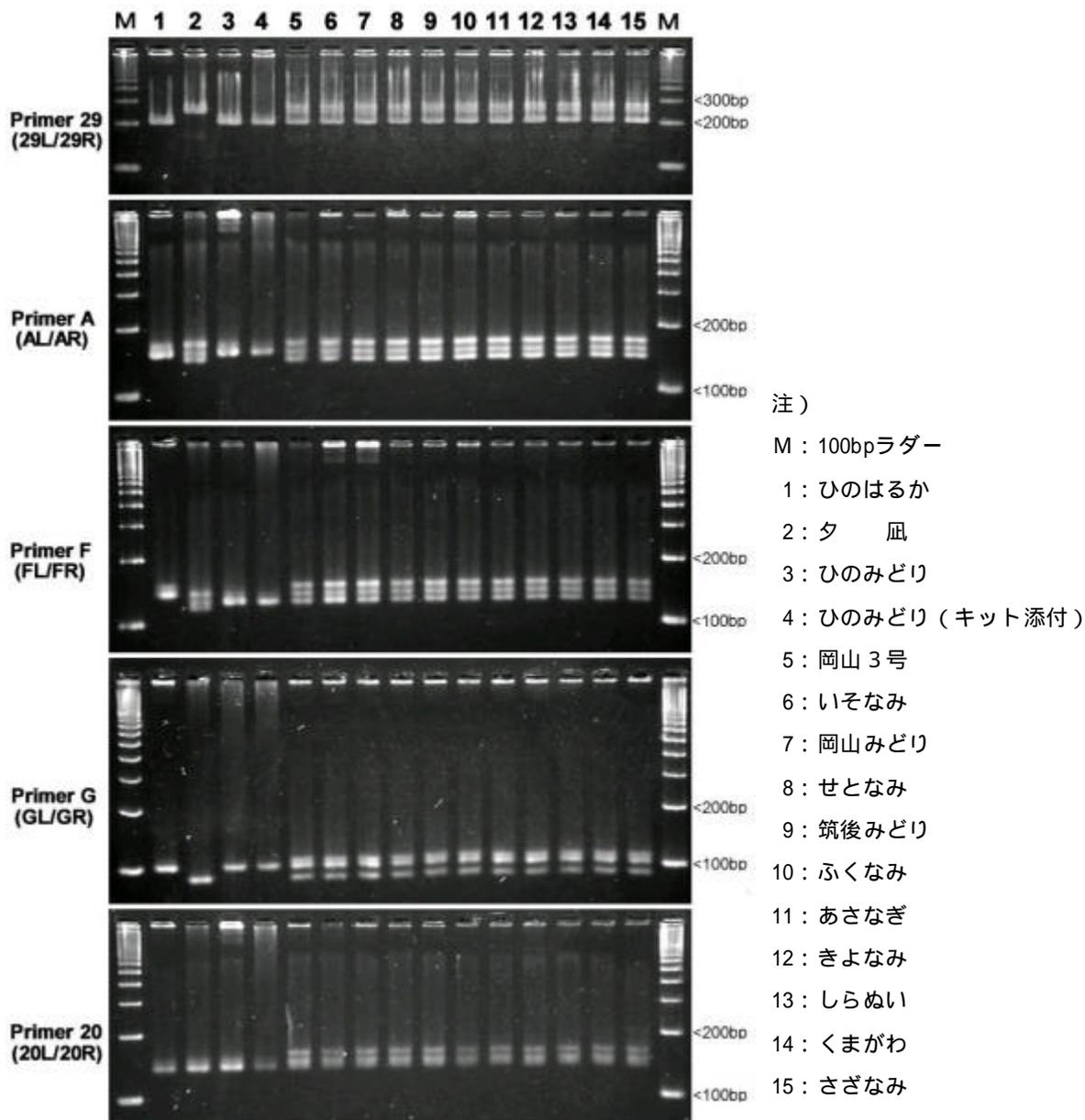


図 1 ‘ひのみどり識別キット’による多型パターン

表 1 ‘ひのみどり識別キット’による識別結果

	29L/29R			AL/AR			FL/FR				GL/GR			20L/20R		
	210	280	300	150	160	180	120	125	150	165	90	110	115	130	150	175
ひのはるか	+	-	-	-	+	+	-	-	+	+	-	+	-	+	+	-
タ 凧	-	+	-	+	+	+	+	+	+	-	+	-	-	+	+	-
ひのみどり	+	-	-	-	+	+	-	+	+	-	-	+	-	+	+	-
他 1 1 品種	+	+	+	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+

注 1 : 網掛けの部分が固有のバンドパターンとなり他品種と識別できる。

注 2 : DNA断片の有無を「有」= +、「無」= - で示した。

注 3 : 表内の数字は、大まかなバンドのサイズ(bp)

注 4 : この表は、「植物のDNA品種識別についての基本的留意事項 - 技術開発と利用のガイドライン - DNA品種識別検討会 平成15年1月」参考資料4の10頁のデータを参考にした。